

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束と捉えられる機器(離床センサーマット)の使用時には、目的をしっかりと検討し、内容をケアプランや記録等に記録する。	担当学会議等で検討し、離床センサーマットを使用する目的を職員一人一人把握する。	何かあった際に毎日の日誌へ記録し、職員間で共有する。	3ヶ月
2	31	ホームでの支援内容と重度化した際の指針を、文章で定め、口頭での説明と共に利用者入居時に分かりやすく説明できる体制作りをする。	支援内容と重度化した際の指針文章を作成し、利用者入居の際に、ご家族様が分かりやすいように、口頭と文章で説明する。	法人内のグループホーム管理者会議で、文章作成に向けて検討する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。